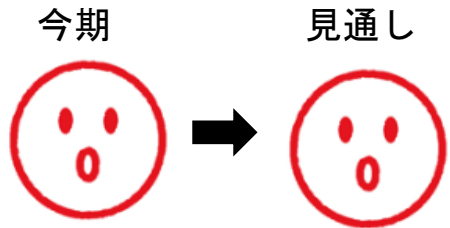
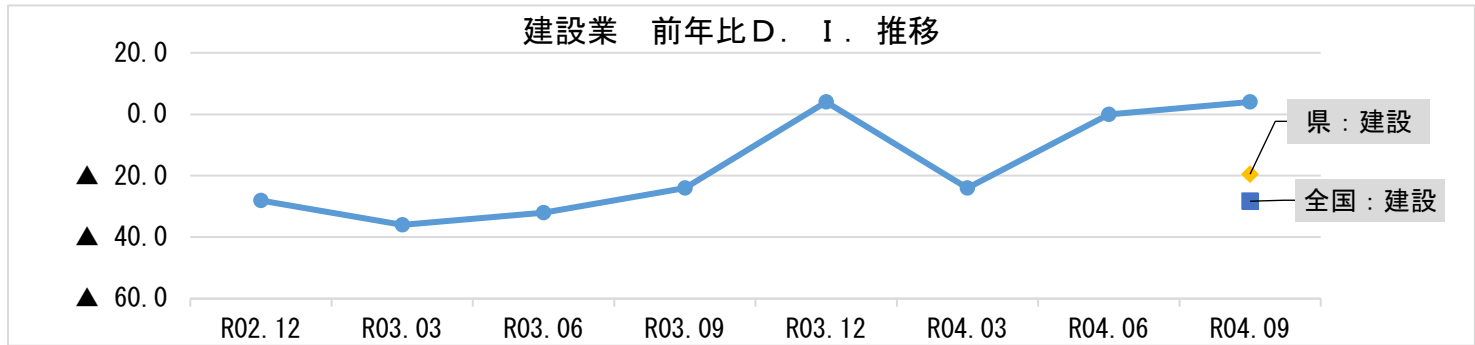


建設業

回答率：100% (25/25)



■丹波市の景況推移
原材料等の納入遅延に少し改善が見られたが、まだまだ原材料等の価格高騰が続いている。見積後に仕入単価が上昇することから、採算が悪化している。



■丹波市の景気動向
【丹波市の今期の景況】
原材料等の納入遅延は少しずつ解消してきているが、為替市場の影響やコロナの影響等による価格高騰は現在も続いている。見積りを出して1か月後に契約が決まると、見積時点より仕入単価が上昇していることから利幅が減少している。
【丹波市の来期の景況予想】
原材料等の高騰がまだまだ続くと予想される。原材料等の納入遅延は、改善傾向にあるが、種類によっては今後も遅れが生じる可能性がある。新築よりもリフォームの受注が増え続けると予想される。

■全国の景気動向
民間の設備投資意欲の好調を感じる。入国制限の緩和により、ホテルの内装工事などの受注が増加している。
その反面、物価上昇、人手不足による人件費の高騰など、原価の上昇が激しく、十分に受注単価に転嫁できてない。
また、円安の加速もあり、先行きが不透明である。
■県下の景気動向
受注件数は増加傾向にあるものの、資材や燃料等の価格高騰の影響が大きく、採算が悪化している。運転資金として借入を希望する事業所も増加している。

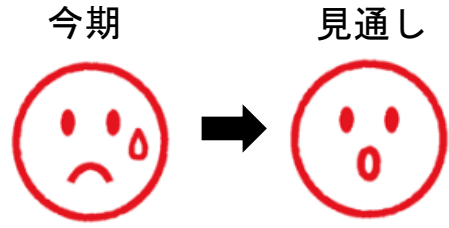
■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	2	1	0	3	0	1	7	28.0%
不変	1	7	1	0	2	1	12	48.0%
悪い (悪化+やや悪化)	0	4	0	1	1	0	6	24.0%
合計	3	12	1	4	3	2	25	100.0%

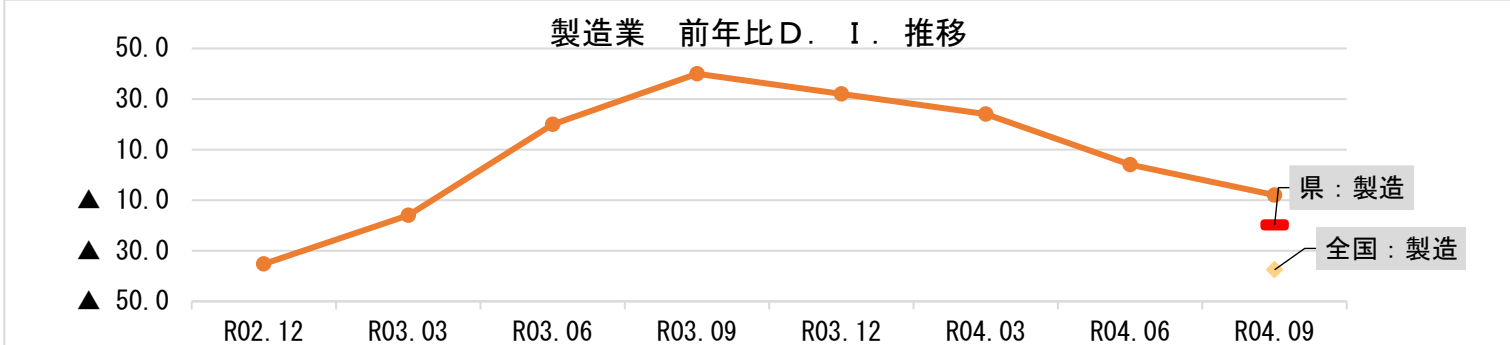
製造業

回答率：100% (25/25)

2022年7月～9月期調査



■丹波市の景況推移
製造業全般において、原材料の価格高騰が継続しており、利益を圧迫し厳しい状況が続いているが、一部、メーカーからの生産調整の緩和により業況が改善しつつある事業所も見受けられる。



■丹波市の景気動向
【丹波市の今期の景況】
製造業全般として原材料高騰により厳しい状況が続いている。材料・電気料金等経費の上昇により取引先が内製化を進めるところが増え、取引数も減少し厳しい景況感である。又、大手メーカーの下請けは円安やウクライナ情勢に左右されている状況である。
【丹波市の来期の景況予想】
国内鉄道各社の業績悪化により、需要減退状況は継続しており今後の回復の見込みも薄い状況であるが、一部自動車部品製造業では、メーカーの生産調整が緩和されてきており少しずつ業況が改善していくと思われる。

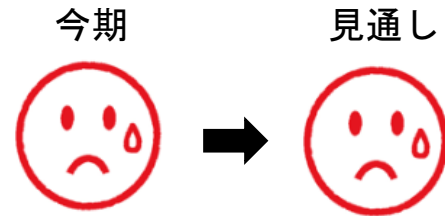
■全国の景気動向
輸出額が17カ月連続増加など、企業によっては円安による好影響がみられた。受注状況が好調であった繊維・服飾品製造は大きく改善した半面、自動車メーカーの減産や生産停止が続く中、自動車部品など輸送用機械・機器製造業は3ヶ月ぶりに悪化している。
■県下の景気動向
食料品関係は10月の値上げに向けて駆け込み需要があり、繊維関連も冬物衣料の需要増加及び価格転嫁が進んだことで業況は少し改善したが、原材料の高騰が継続しており、収益の見込みが立ちにくい厳しい状況が続くことが懸念される。

■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	0	1	1	0	1	2	5	20.0%
不変	2	5	3	2	1	0	13	52.0%
悪い (悪化+やや悪化)	0	3	1	1	1	1	7	28.0%
合計	2	9	5	3	3	3	25	100.0%

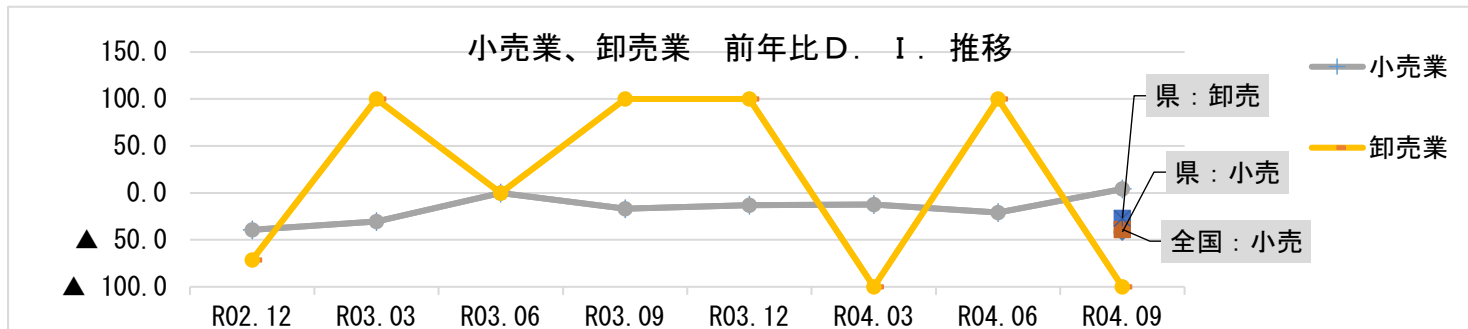
小売、卸売業

回答率：100% (25/25)



■丹波市の景況推移

売上については、コロナ感染状況も治まっており、秋の行楽シーズンから年末の購買需要拡大を期待し、更なる改善を予測する傾向がみられる。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

コロナ第7波の収束で幅広い業種において売上増加傾向が見られた。しかし、原油価格の高騰や幅広い商品・材料の値上げにより採算については横ばいないし悪化傾向。顧客の買い控え行動を恐れ、仕入原価を販売価格に転嫁できずに販売を続けている事業所が多い。その他、特に中古車価格の高騰及び品不足というコメントが目立った。

【丹波市の来期の景況予想】

売上については、コロナ感染状況も治まっており、秋の行楽シーズンから年末の購買需要拡大を期待し、更なる改善を予測する傾向がみられる。一方、原油価格の高騰や円安による輸入製品価格の上昇により、これをいかに価格に転嫁できるかが大きな課題となっている。

■全国の景気動向

各種食料品小売についてはコロナ収束により客足は好調な傾向にある。またアパレル関連においても秋冬への支度や販売単価の上昇で、やや売上拡大傾向がみられる。一方、車両販売においては新車納期遅れにより販売機会の逸失、また中古車価格上昇により、舵取り困難な状況が続いている。

■県下の景気動向

県下の多くの市町村でコロナ臨時交付金による商品券が発行されており、特に食料品関連において需要拡大が見られた模様。コロナ収束により個人消費拡大が年末に向け更に期待できる一方で、円安による輸入商品の値上げが採算に影響を及ぼす状況が予測される。

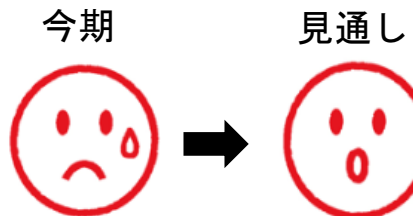
■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	2	3	0	1	0	0	6	24.0%
不変	2	4	0	2	3	2	13	52.0%
悪い (悪化+やや悪化)	2	2	1	1	0	0	6	24.0%
合計	6	9	1	4	3	2	25	100.0%

飲食・宿泊、サービス、その他業種

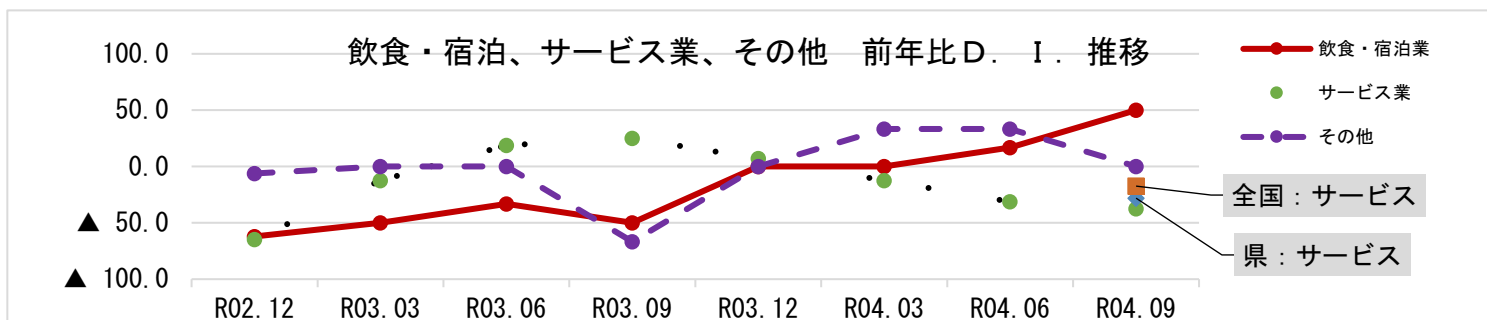
回答率：100% (25/25)

2022年7月～9月期調査



■丹波市の景況推移

徐々に人流が回復し、通常の売上水準に回復傾向にあるが、円安、原油・原材料高の影響により、採算や資金繰りの悪化を懸念する声があり、価格に転嫁できるかが課題として挙げられる。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

感染状況が改善し、飲食需要が戻りつつあるが夜の団体やグループでの飲食は回復のスピードが緩い。また、原材料の高騰により、価格の引き上げを行いたい客足に影響が出る恐れがあり、転嫁に踏み切れていない。そのため、売上は回復傾向にあるが、採算や資金繰りは悪化している状態となっている。

【丹波市の来期の景況予想】

感染状況が改善したことにより、年末年始の需要に期待を寄せる声が多く、また、国の全国旅行支援事業で人流の増加も期待できることから業況が回復すると期待する声が多くある。ただ、最低賃金の引上げによる人件費の増加や仕入、経費の上昇が継続すると更に採算が悪化すると懸念する声もある。

■全国の景気動向

今まで控えていたイベントやキャンペーンを実施する事業者が多く、その効果として観光需要の増加に繋がっており、関連する産業が回復傾向にある。ただ、依然として円安や原油・原材料高の影響を受けている企業が多く、仕入及び経費の上昇分を価格に転嫁できず、採算が悪化している状態が続いている。

■県下の景気動向

原材料の仕入や燃料費の高騰が続いており、その都度価格を見直す必要があるが客離れを懸念して転嫁に踏み切れない。ただ、今後、全国旅行支援などの事業も始まることから期待を寄せている事業所も多くあり、新たな設備投資や改装等で需要に対応する事業者も見受けられる。

■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	2	2	0	1	0	0	5	20.0%
不変	2	3	4	1	1	1	12	48.0%
悪い (悪化+やや悪化)	1	3	0	2	2	0	8	32.0%
合計	5	8	4	4	3	1	25	100.0%